

## 平成29年度に向けた政策創造部の施策の基本方針

「徳島ならではの」地方創生を加速し、一億総活躍社会の実現へ！

【取組みの視点】

創造的実行力

県民目線・現場主義

課題解決を先導

新未来を創造

## 地方創生の展開加速

## ■「とくしま帰郷」のさらなる加速

- ▶ 「消費者行政新未来創造オフィス」の設置を機に「新しい人の流れ」を創出
- ▶ サテライトオフィス・プロジェクトの新たな展開
- ▶ 移住者目線で、「情報発信」「移住相談」「魅力実感」「移住実現」の各ステージの施策を充実強化
- ▶ 奨学金返還支援制度による若者の地元定着を促進



## ■「vs東京」で徳島の魅力を発信

- ▶ 多様な手法で「徳島ならではの」地域資源に磨きをかけて世界に発信
- ▶ 都市圏から徳島の魅力を世界へ発信



## 未来に向けた「先駆モデル」の構築・実践

## ■徳島ならではの「処方箋」を創造

- ▶ 「徳島版地方創生特区」に新たに「課題解決先導枠」を設定
- ▶ 「規制緩和」を通じた「地方創生」の加速
- ▶ 市町村の地方創生型行政サービスモデルを促進
- ▶ 若者の政治意識向上を推進
- ▶ 住民主体の地域コミュニティへの支援
- ▶ 集落再生をはじめ、地方創生モデルの創出を図る「とくしま創生アワード」の進化
- ▶ 徳島の創意工夫を盛り込んだ「創生アワード」の実効性ある政策提言を実施



## ■「ICT」利活用推進による地域力向上

- ▶ IoTの利活用による「徳島モデル」の創造
- ▶ オープンデータの利活用による課題解決
- ▶ マイナパンバーカードのさらなる普及促進



## 多様な主体との連携強化

## ■広域連携の推進

- ▶ 「全国知事会」「四国知事会」「関西広域連合」等を通じ、国への提言や要請の積極的な展開
- ▶ 「四国八十八箇所霊場と遍路道」の世界遺産登録に向けた新たな取り組みの推進



## ■地方創生を担う人材育成と活躍支援

- ▶ 県内外の大学との連携による人材育成の展開
- ▶ 高等教育機関との連携による、科学技術分野の人材育成



## ■徳島フアンの拡大

- ▶ 若者と県人会との交流によるネットワーク拡大
- ▶ ふるさと納税制度を活用した魅力発信

# 平成29年度に向けた南部総合県民局の施策の基本方針

## 課題

- ① 切迫する南海トラフ巨大地震と頻発・激甚化する風水害
- ② 自然環境の保全と交流人口の伸び悩み
- ③ 基幹産業である農林水産業の後継者不足
- ④ 人口減少・過疎高齢化による地域活力の低下

「四国の右下」の  
強みを活かし、課題を克服する  
県南モデルの創出

## 4つの地域づくり

- ① 安全で安心して暮らせる地域づくり
- ② 自然とともに歩み、交流が広がる地域づくり
- ③ 県南ならではの産業による地域づくり
- ④ 支えあい次世代につなぐ地域づくり



## 具体的取組

### ① 安全で安心して暮らせる地域づくり

- 熊本地震の教訓を踏まえた災害対策の強化
  - ▶ 避難場所の機能強化
  - ▶ 自立した避難所運営のためのリーダー育成
  - ▶ 要配慮者にやさしい避難所運営体制構築への支援
- 誰もが安全で安心して暮らせる確保と向上
  - ▶ 「迎え撃つ!防災減災県南プログラム」の推進
  - ・イベントと連携した防災啓発(&防災)の促進
  - ・船舶や自衛隊ヘリによる孤立地域からの救出訓練の実施
  - ▶ 自殺希少地域(旧海部町)を参考としたまちづくりの推進
  - ▶ 那賀川浸水対策の推進



### ② 自然とともに歩み、交流が広がる地域づくり

- 美しく豊かな自然環境の保全と利活用
  - ▶ 海からのめぐみを活用したまちづくりの推進
    - ・「千年サンゴ」の保全と次世代への継承
    - ・「千年サンゴ4K動画」等を活用して環境保全意識を醸成
- 新しいひとの流れの創出
  - ▶ 世界に向けた「四国の右下」インバウンド  
受入態勢の構築
    - ・インバウンド拡大のためのヒトづくり・モノづくり
    - ・世界に向けて情報発信
  - ▶ 「道の駅日和佐」を核とした観光・交流の促進



### ③ 県南ならではの産業による地域づくり

- もうかかる農林水産業へのチャレンジ
  - ▶ ぎゅうりタウン構想の実現に向けた取組みの加速化
  - ▶ 木頭ゆず+αによる「もうかる農業」の実現
  - ▶ 「海部の魚」ブランド化と低利用魚の消費拡大
- 農林水産業を次世代に継承
  - ▶ 地域自発型の就農誘致モデルの拡大
  - ▶ 「山武者」と連携した林業体感塾の展開
  - ▶ 漁業ほんもの体験による就業促進



### ④ 支えあい次世代につなぐ地域づくり

- “県南ならではの”移住・定住の促進
  - ▶ 「四国の右下」ふるさと回帰の促進
    - ・創業人材の育成・誘致
    - ・「四国の右下」版CCRRCの加速化
  - ▶ 「四国の右下」サテライトオフィス誘致の促進
    - ・SOの更なる誘致
    - ・IoT企業集積により地域をブランド化
- 学生の発想・視点を活かした地域活性化
  - ▶ フィールドワークを通じた地域課題の解決



「四国の右下」の強みを活かした課題解決県南モデルを全国に発信!

# 平成29年度に向けた西部総合県民局の施策の基本方針

「西部圏域振興計画(第3期)」に定める「5つの重点項目」に基づき、施策を推進

## 1 魅力ある観光・交流の拡大



- 広域観光周遊ルートの活用や全国の観光圏と連携し、世界水準の観光地域づくりを推進
- 世界ラフティング選手権や三大国際スポーツ大会を契機として外国人の誘客活動を推進

## 2 豊かな地域環境の創造



- 女性や子どもも登りやすい、日本一安全・安心な山「剣山」を目指した取組みを推進
- 日本の宝「剣山」の美しく豊かな自然を次世代に継承するための取組みを推進

## 3 安全・安心な地域社会の形成



- 熊本地震や鳥取県中部地震を踏まえ、中央構造線活断層帯直下型地震を想定した防災対策を推進
- 西部健康防災公園の活用等により、平時から災害時を見据えた健康づくり・防災力を強化

## 4 健やかに暮らせる地域づくり



- 糖尿病重症化予防やCOPD対策など、にし阿波が抱える健康課題対策を強化
- 災害時における保健・医療・福祉体制の充実に向けた取組みを強化

## 5 活力ある地域経済の振興



- 食と農の景勝地づくりを推進するため、農業コンテンツの充実に向けた取組みを強化
- 市町・NPO・事業者等と連携し、サテライトオフィス誘致に向けた取組みを推進